SDGs未来都市　提案概要（京都市）

別紙

全体計画

【タイトル】千年の都・京都発！SDGsとレジリエンスの融合　しなやかに強く，持続可能な魅力あふれる都市を目指して

【課題】「地球温暖化の加速」　「人口減少の本格化」　「グローバル化の進展」　「産業構造の転換と厳しい京都市財政」

【2030 年のあるべき姿】

『あらゆる危機を乗り越え，将来にわたって人々がいきいきと暮らせる，魅力と活気にみちた持続可能な京都のまち』

⇒文化を基軸としたあらゆる政策の推進により SDGs に貢献することを基本とする京都市の特徴を強調

【本市の目指す目標】

- ●2030 年SDGsの達成
- ●2040 年レジリエント・シティの実現
- ●2050 年 CO_2 排出量正味ゼロの達成

千年の都の歴史を持つ持続可能な京都で培われたレジリエンスとＳＤＧｓを融合し，ＳＤＧｓのその先の未来を目指す！

【本計画で実施する取組と目指すターゲット】

レジリエンス戦略の6つの重点的取組分野に沿って2030 年のあるべき姿を実現する主な施策を記載

将来ビジョン（2030 年までに実施）	自治体ＳＤＧｓ推進（2021～2023 年の３年間に実施）
1　豊かに暮らせるまち（文化・芸術創生，経済・産業発展　等）⇒主に「経済」に貢献	
○ 文化の持続可能性を高める担い手の育成と機運醸成 ○ 文化による経済活性化を都市の持続可能性につなぐ取組の推進 ○ 伝統と革新が融合した成長戦略の推進	○ 文化庁，京都芸大の移転　○ 文化財の「保存と活用の好循環」の創出 ○ 文化遺産を大切にしたまちづくり ○ 市民生活と調和した観光の推進　○ 地域企業の発展支援
2　人が育つまち（人口減少・少子高齢化対策　等）　⇒主に「社会」に貢献	
○ 未来の担い手をまちぐるみで育む取組の推進 ○ 誰もが活躍できる社会環境の構築・整備 ○ 移住・定住促進	○ 質の高い幼児教育・保育の提供　○京都で学ぶ魅力の向上 ○ 地域生活の多様な課題への対応 ○ 多様な働き方実現と雇用のミスマッチ解消
3　支え合い，助け合うまち（地域コミュニティ活性化　等）⇒主に「社会」に貢献	
○ 地域力・市民力の更なる強化 ○ 地域社会の担い手不足解消に向けた多様な力の参加促進 ○ 市民の健康づくりを支える関係機関等の連携促進	○ 大学の枠を超えた学生活動の推進 ○ 子育て家庭，子ども・若者の孤立防止 ○ 「健康長寿のまち・京都」の実現
4　快適で安心安全なまち（景観・町並み保全・創生，空き家活用促進，防犯　等）⇒主に「社会」に貢献	
○ 景観・町並み，良好な居住・生活環境等の総合的対策の推進 ○ 安心安全な生活環境を実現する取組の推進 ○ 安心安全を支える都市環境の創出・提供	○ 建築物の質の向上，歴史的町並み・京町家等の保全・継承 ○ 健康危機管理の推進　○京の食文化の継承・発展 ○ 多様なニーズにこたえる公園整備・緑の創出・育成管理
5　災害に強いまち（防災・減災，テロ対策，インフラ老朽化対策　等）⇒主に「社会」に貢献	
○ 市民・企業等と連携した防災まちづくりの推進 ○ 地域力・市民力を活かした防災・減災力の更なる向上 ○ 災害発生時に都市機能を維持するための強靭な社会インフラ整備	○ 地域防災の中核的存在である各消防団の定員充足 ○ 地域が自ら備え，しなやかに対応できる体制づくり ○ 地域防災力の充実強化
6　環境にやさしいまち（地球温暖化対策　等）⇒主に「環境」に貢献	
○ 環境先進都市としてのモデルとなる取組の推進と発信 ○ 自然環境保全に向けた取組の促進 ○ 持続可能な社会の担い手と環境に優しい社会経済の仕組みづくり	○ 脱炭素型のくらしや持続可能なエネルギー社会の実現 ○ 品格ある市街地景観形成　○ 循環型社会の構築 ○ 「歩くまち・京都」の推進　○水環境の保全　○農林業の推進

自治体SDGsモデル事業

【目標・テーマ】京都の文化が息づく３側面，“みんなごと”で取り組むレジリエンスモデル　～ＳＤＧｓのその先へ～

取組内容の概要　：　くらし，支え合い，はぐくみ，伝統と革新，精神性など，京都に息づき人々の行動様式の基となる「文化」の力が３側面の取組を支え，多様なセクターが協働し，課題解決を図る３つのプラットフォーム事業が連携することにより，“みんなごと”で取り組む市民力がＳＤＧｓの目標年度の 2030 年の先を見据えた「レジリエント・シティ」の実現に貢献する。

文化を基軸とした都市経営による「地域経済の活性化及び新産業の創出」（経済），「環境負荷の低減及び自然環境の保全」（環境），「市民力の育成」（社会）　に取り組む

【3側面の各取組】

（経済）

伝統文化・伝統産業⇒ものづくり文化・先端産業

1　スタートアップ・エコシステムの構築
2　ソーシャル・イノベーションの推進
3　農林業の振興を通じた農地・山林の多面的な機能の発揮

（環境）

くらしの文化⇒環境と調和した持続可能な社会

1　環境に配慮したライフスタイルの定着
2　ごみの出ない循環型社会の構築
3　生物多様性豊かな自然環境の保全・回復
4　環境・エネルギー分野における産業振興

（社会）

歴史文化・支え合い文化，はぐくみ文化⇒地域力，福祉力

1　誰もが文化に触れる機会の創出による多様な文化の継承
2　文化芸術による共生社会実現のための基盤づくり
3　地域の多様なコミュニティの活性化に向けた支援
4　消防団や自主防災組織を中核とした地域防災力の充実強化
5　持続可能な社会の担い手の育成に向けた教育の推進

【3側面をつなぐ統合的取組】

●「超SDGs×レジリエンス　テラス事業」

単なる公民連携の組織ではなく，取組主体や行政の関与，展開先等の異なる3つの公民連携プラットフォームで構成。異なる3つのプラットフォームがそれぞれの強みを活かし弱みを補い合う仕組みを構築し，バランスの取れた解決策に導く。成功事例は国内外に発信し，更に多様な主体の参加を促すことにより，相乗効果を生む。

・「京都産学公 SDGs プロジェクト」（SDGs未来都市補助金活用事業）

京都大学や（株）リコーなど産学公が組織して取り組むプロジェクト。2025 年の大阪・関西万博をターゲットに，京北地域をフィールドに「持続可能な里山モデル」の構築を目指し，全国の地方創生に貢献する取組や，**2050 年カーボンニュートラル**につながる「ごみ減量，脱プラ，創エネ」，「SDGs 教育・研究」といった幅広い取組により，全国への発信・展開を目指す。

・「公民連携・課題解決推進事業」（地方創生推進交付金活用事業）

行政主体で地域企業・団体，金融機関等が参画するラボを設置して行政課題の解決に取り組み，ICT を活用した実証実験等を通じて，スタートアップやソーシャルビジネスへの展開を目指す。

・「国連大学との連携協定事業」（予算なし，民間主導により実施）

京都をフィールドに社会実験を行い，社会課題解決とともに参加企業のビジネスモデルを構築して，国内外へ展開を目指す。